

我々は誰もが平和を維持したいと思っている。しかし、超大国が全面的な武装解除に合意しないかぎり、平和は脅かされ続ける。

この脅威に対して、我々に何ができるのか？

平和を維持し、自由に生きるために、我々は侵略に対して軍事的に備え、15か国の同盟の防衛力を高めなければならない。

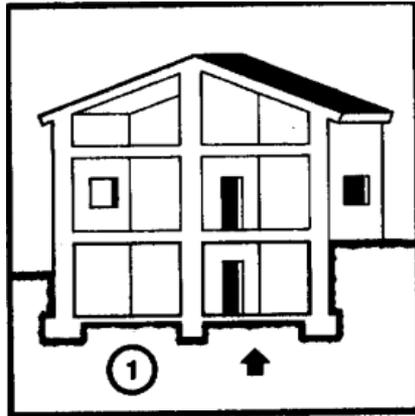
この冊子では、我々は放射性降下物のリスクについてのみ取り扱う。放射性降下物は攻撃目標だけでなく、広大な領域に危険が及ぶ。核爆発により多くの放射性的の塵が大気中に放出され、風や天候により、さまざまな距離の場所に降ってきて、生命や健康を脅かす。

放射性降下物から身を守るために何をしなければならないか、この冊子を読むこと。

# 放射性降下物がどうやって身を守るのか？

最善な防護は、適切な防護構造である。\*

適切に準備すれば、地下室は  
応急防護手段となる。



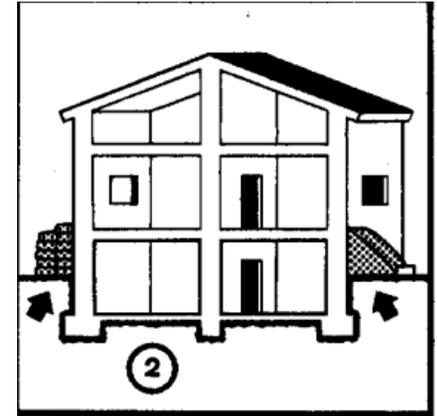
## どのような地下室か？

地表に露出していない地下室が適切だ(図1)。表に露出している地下室でも防護手段となる。斜面に建てられた、ガス・水道・蒸気の配管のある地下室は可能なら避けるべきである。

地下室の防護力は天井に依存する。重量のたる天井は良い防護手段となる。空洞のある岩などは適切ではない。天井が木製の場合、

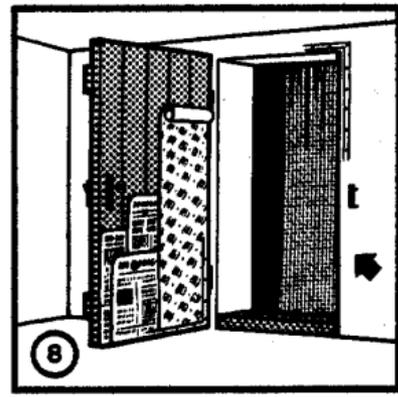
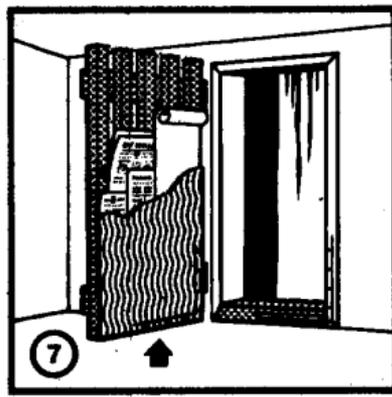
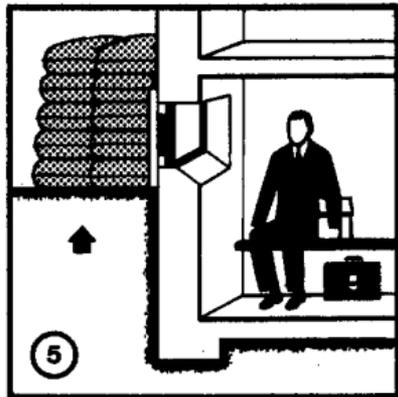
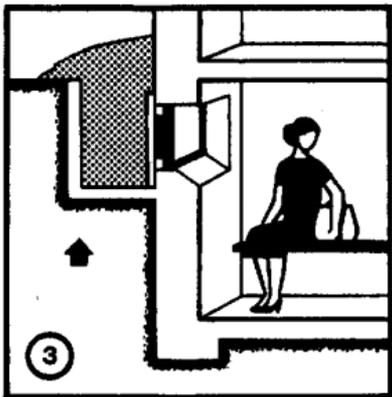
サンドバックや同程度の密度の物質を天井の上に置き、その重量を支えられるように天井の下を強化する必要がある。

\*) 連邦住宅省は、新築及び既存の住宅についての詳細なガイドラインを連邦建築広報1961年1月号に掲載した。

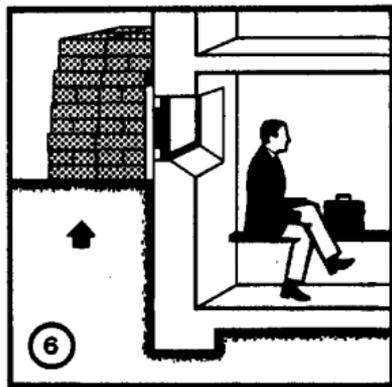


## 地下室の防護

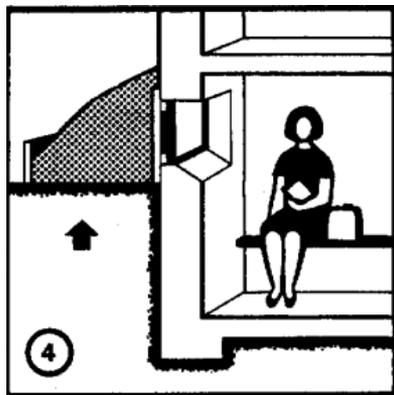
シェルターの外壁は、地表面まで、土やサンドバッグなど埋めて強化する必要がある(図2)。コンクリートやレンガはより効果的である。これらにより放射線に対する防護力が飛躍的に高まる。これらは外壁の厚さが30cm以下の場合に必要なものである。



地下室の明り取りの窓は、土や砂をサンドバッグに入れて、ふさぐのが最善である。木材や金属のボードで窓を防護すること(図3)。



地上に出ている地下室の窓は、同様に塞ぐ必要がある。サンドバッグやレンガで壁を倍に強化する必要がある。



シェルターの扉からダストが入らないようにする

このために、戸口に敷居が必要である。紙(新聞でも)や段ボールやホイルなどを数層、接着あるいは釘づけして、防護する。棧戸はやわらかい板や硬い板で防護する。ドアの端や木の枠や壁の表面は、布切れや神やフェルトやラバーなどで防護する(図7)。

呼吸する空気を改善するために、ときどき、ドアを開ける必要があるが、ダストが入らないようにしなければならない。このため、ドアの外にカーテンか毛布をつるす(図8)。

地下室がない場合、1階の中心部分の廊下を、応急シェルターに使う。

## 地下室の備品

シェルターでは外部から電源供給がなくても2週間滞在できるようにする。飲み水は密閉できる容器に、ひとりあたり30リットル。同様に、パッケージされた未調理の食品。

通常、シェルターは2/3の人が座り、1/3の人が横になれるようにする。

電気調理器具の電源があると便利である。

VHF受信できる電池ラジオは重要であり、絶対に必要である。

地下室自体あるいは控室のコーナーをカーテンで仕切る。(泥炭やおがくずなどで)固まるようにしたトイレ用バケツを置く。バケツはしっかりしめる蓋をするか、ビニールでラップする。

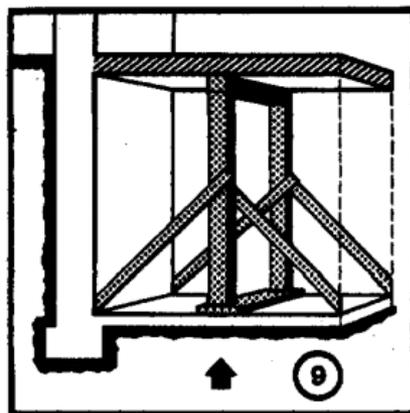
緊急用に懐中電灯と電池、ロウソクとマッチや、風防付きランプなどを用意する。

救急箱や、脱出用器具や、消火器などが必要である。

非常用出口として、別の地下室の窓が使える。木などの板で塞いで起き、内側から開けられるようにしておく。

テラスハウスでは、隣の家との間の防火壁をマークして、壁を破壊できるバールやノミなどを用意しておくことを推奨する。

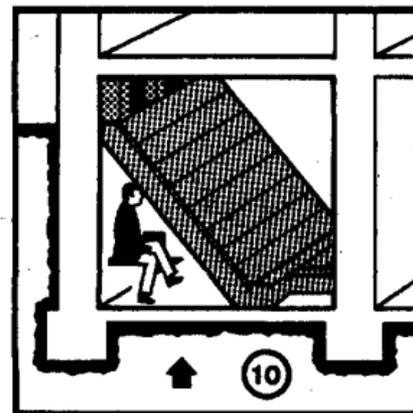
シェルターの位置は、家の外壁に矢印で明記しておくこと。



天井の支持

部材が入手できるなら、地下室の天井を2メートル幅で強化する。天井の梁を直角に支える。支持体は、斜めの桁で強化する必要がある(図9)。

サンドバッグなどで木の天井の放射線防護を強化した場合、同様の天井支持が必要である。



板を立てかけたシェルター

部材が入手できるなら、地下室の天井を2メートル幅で強化する。天井の梁を直角に支える。支持体は、斜めの桁で強化する必要がある(図9)。

サンドバッグなどで木の天井の放射線防護を強化した場合、同様の天井支持が必要である。

連邦防空協会の地域事務所が、情報や助言や実践的指示などで諸君らを支援する。